

## 「ふるさとを愛し 夢を育む 賢く優しくたくましい子」

- ・(ひ) 人の話をしっかり「きく」ことのできる子
- ・(や) やさしく 思いやりのある子
- ・(く) くじけず 最後までがんばる子
- ・(た) たくましく 健康な子



<http://www.hyakuta.m-alps.ed.jp/>

## 終わりの見えない戦い

一月の中旬より爆発的な拡大を見せている新型コロナウイルスのオミクロン株。今週になっても、なかなか思うように減少を見せてくれず、終わりの見えない戦いとなっております。ニュース報道にもあるように、全国及び県内においても多くの学校で感染児童生徒が見られ、学校現場でも緊張の続く毎日です。学校でも引き続き感染対策を続けて参りますが、今回のオミクロン株は感染力が強く家庭内感染が8割ともいわれていますので、御家庭でも引き続き対策をお願いいたします。



とここで、今回この状況をふまえ県知事より臨時特別協力要請の延長が2月20日まで打ち出されました。これにより、分散・分割、オンライン授業等の取入や感染リスクの高い教育活動の見合わせなどが引き続き求められることとなりました。一部教育活動の再開も許されてはいますが、基本的には1月27日付で出させていただいた通知の通り、分割授業も取り入れた対策を来週も続けさせていただきます。

児童の学び合いはもちろん、合唱や調理実習、そろっての楽器演奏や集団での体育などの教育活動がなかなか進められずにあります。日常の教育課程を進めることが精一杯で、校外学習に加えて6年生を送る会や卒業式などの取組などがなかなかできず、計画の変更等も検討せざるを得ない場面も多く出て来ており、頭を悩ませているところです。そうはいつても児童の安全には変えられませんので、御理解いただきたいと思います。全面的に再開できるようになりましたら、状況を見ながら少しずつ進めていきたいと考えております。あわせて、来年度のPTA役員さんや登校班を決める地区会議もなかなか開けなく、現地区役員さんには何度も無理を言いながら日程変更をしていただいている状況です(昨日1~5年生に再変更の通知を出しました)。全家庭の保護者の皆様にも、せっかく時間をあけていただいたのに変更、変更で申し訳ありませんが、何とかこの状況を乗り切るために御協力ください。これからも必要な情報は、随時お便りやメールにてお知らせしていきます。明日から三連休、体調管理をよろしく願いいたします。終わりのない戦いは決してないということを信じて、共に頑張っていきましょう。

※これまで通り、児童ならびに御家族の皆様がPCR検査や抗原検査を受ける場合、万が一陽性になった場合などには、できるだけ早くご連絡ください。

〔追記〕

二年間以上にも及ぶコロナ禍で、誰もが減入ってしまいがちです。そんな中でも登校時や教室を回ったとき、廊下ですれ違った時などに見られる子供たちの笑顔や明るい声、休み時間に校庭で楽しそうに遊ぶ姿などを目にすると、思わず心が明るくなります。そんな児童を見ているだけで、教員として過ごしてこられたことに喜びを感じております。百田小の児童を前にして、これからもまだまだ頑張れそうです。「子は宝」ですね。

## ほんとうの友達 二つのエピソードから

芥川龍之介が書いた「杜子春」という小説の一節。杜子春が仙人のおかげでお金持ちになると、たくさんの人がちやほやしてくれるのですが、お金がなくなるとたんに、そういう人達はいなくなってしまう。こんな場面が何度か繰り返されます。お金があるなしだけではなく、その人がもっているものや、やっていることが目当てで集まってくる人は、もっているものがなくなったり、できていたことができなくなったりすると、周りからいなくなってしまう。そういう人達はほんとうの友達ではありませんね。



いつでもどんなことがあっても、友達でいてくれる人がほんとうの友達でしょう。そばにいらればそばにいて、いられなくても電話やメールや手紙などで心が通じていることを伝えてくれるような友達です。

ボクシングで日本人の世界チャンピオンを6人も育てた伝説のトレーナーがいます。ハワイ出身でエディ・タウンゼントという人です。友利正さんという選手が世界チャンピオンになったとき、試合後の控室にたくさんの人がお祝いに来てくれたので、エディさんは友利選手にみんなにお礼を言うように伝えました。その後、友利選手は最初の防衛戦で負けてしまったのですが、試合に負けた日の夜、友利選手が宿舎に戻った時には、自分の家族の他にはエディさんしかいなかったようです。チャンピオンになった時にはあんなにたくさんの人がいたのに…。でもエディさんは友利選手のそばにいて、試合の後で顔がはれてシャワーも浴びられない友利選手の髪の毛を洗ってあげたうえ、朝までずっと一緒にいたそうです。



また、こんな話もあります。魚にとっても詳しく大学の先生でもある「さかなクン」のことです。さかなクンが中学生の時、同じ部活動の友達が周りの生徒に無視され、誰も口をきいてくれなくなってしまったことがあったそうです。その時さかなクンは無視している周りの生徒を止めたり、無視されている友達を励ましてあげたりすることができなかったといいます。いじめっ子に立ち向かうことも、いじめられっ子を励ますこともできなかったのです。でも、さかなクンが友達のために一つだけしたことがありました。それは、友達を誘って海に魚釣りに行くことでした。友達と一緒にただ海岸で釣りをしたのですが、その友達の表情がほっとするのがわかったそうです。

「ほんとうの友達」ってどんな友達だろう？きっといろいろな考えがあり、一つの答えにまとめることは無理でしょう。でも、相手が困っている時やつらい時、落ち込んでいる時など、そばにいて励ましてくれる、またはただ隣にいて黙って見守ってくれる、そんな友達が一人でもいると嬉しいことです。また自分自身も誰かにとって、そういう友達の一人になればもっと嬉しいことです。さらにお互いにそういう友達同士でいられたら、とっても素敵なことでしょう。これからの生活の中、百田小の児童の皆さんには、そんな友達関係をたくさん築いていってほしいと思っています。

